

項目別シルバーライフスタイル分析

I N D E X

■ I N D E X P.1

■ 調査活動実施概要 P.2

■ モニタープロフィール P.3

■ 項目別シルバースタイル分析

1. 日常生活のパターン P.4 ~ P.5
2. 趣味・関心事 P.6
3. 非日常的行動 P.7
4. 健康 P.7 ~ P.8
5. 家族関係 P.9 ~ P.11
6. 家電製品との関わり P.12~ P.17

調査活動実施概要

■調査目的

- シルバー世代を「ジュニア・シルバー（60～74歳）」と「シニア・シルバー（75歳～）」の2グループで捉え、年代差による生活の実状がどう異なるか、また精神面、家族とのコミュニケーションなどの実態がどうなのか、シルバーを取り巻く様々な環境を基軸に定性的に把握する。
また、シルバーの日常生活から見た家電製品開発の新たな方向性を探る。

■調査対象者

- ジュニア・シルバー世代
・60～73歳／男・女計5人 [夫婦2組(4)、単身(1)]
- シニア・シルバー世代
・70～82歳／男・女計5人 [夫婦1組(2)、単身(4)]

■調査内容

- ① パーソナルプロフィール
- ② 日常生活のパターン
- ③ 趣味・関心事
- ④ 非日常的行動
- ⑤ 健康
- ⑥ 家族関係
- ⑦ 家電製品との関わり
- ⑧ 一週間の行動記録

■調査方法

- ①～⑦の調査は、対本人及び家族に対する訪問インタビュー
- ⑧の調査は、本人及び家族によるレポートイング

■調査期間

- 訪問調査
- 週間行動記録調査

モニタープロフィール一覧

	NO		属性	氏名	年齢	居住地	居住形態	家族構成		主仕事	自由使途金額/月
ジュニア・シルバー	1	学者生活 向学 シルバー	单身 男性		73	目黒区	持ち家一戸建	同居5人	長男夫婦・孫2人(小学生・幼稚園)	無職 主に読書	10万円
	2	仕事一筋 いきいき シルバー	夫婦 健在 男性		71	世田谷区	店舗併用住宅	同居6人	長女夫婦・孫2人(中学生・高校生)、四女	風呂屋経営	5万円
				別居家族	次女夫婦・孫1人、三女夫婦・孫3人						
	3	話題活発 いきいき シルバー	夫婦 健在 女性		69			"	"	家業手伝い 家事	10万円
	4	会社役員 リタイヤ シルバー	夫婦 健在 男性		67	世田谷区	持ち家一戸建	同居3人	長男	会社員	決まってい ない
			別居家族	長女夫婦・孫1人							
5	良妻賢母 内助の功 シルバー	夫婦 健在 女性		61			"	"	無職 家事	数万円 10万円	
シニア・シルバー	6	大家族 元大黒柱 シルバー	单身 男性		77	世田谷区	持ち家一戸建	同居7人	長男夫婦・孫夫婦・孫2人(社会人・学生)	不動産管理 家業手伝い (八百屋)	10万円
				別居家族	次男夫婦・孫2人、三男夫婦・孫3人 長女夫婦・孫2人、次女夫婦・孫2人						
	7	知的生活 Enjoy シルバー	单身 女性		80	杉並区	持ち家一戸建	同居3人	次女夫婦	無職 家事手伝い	10万円
				別居家族	長女夫婦・孫2人、三女夫婦・孫2人						
	8	家事現役 シルバー	单身 女性		82	埼玉県蕨市	持ち家一戸建	同居3人	次女・孫(社会人)	無職 家事	3万円
			別居家族	三女夫婦・孫2人							
9	趣味仕事 悠々自適 シルバー	夫婦 健在 男性		76	横浜市	持ち家一戸建	同居3人	次女	不動産管理 趣味	決まってい ない	
			別居家族	長男、長女夫婦・孫3人							
10	趣味家事 悠々自適 シルバー	夫婦 健在 女性		70			"	"	無職 家事、趣味	決まってい ない	

1. 日常生活のパターン

■日常生活のパターンについて

NO	生活パターン	5:00	12:00	24:00			
1	△ 食事時間などは規則正しいが内容は流動的	6:00起床 7:30朝食 読書・病院	12:00昼食 不定	18:00夕食 19~22:00就寝			
2	○	7:00起床 10:00起床 新聞を読みまた寝る	12:00朝食 仕事	15:30昼食 仕事	20:30夕食 仕事	1:30就寝 仕事	家業のため、夫婦の生活パターンが同じ
3	○	10:00起床 散歩・家事	12:00朝食 家事	15:30昼食 家業手伝い	20:30夕食 家事・家業手伝い	1:30就寝	
4	○	6:00起床 7:30朝食 TVニュース	12:30昼食(外食) 会社	19:00夕食 会社	23:00就寝 TV・趣味		夕食から夫が朝出勤するまで、夫婦の生活パターンは同じ
5	△ 午後の子定が流動的	7:00起床 7:30朝食 家事	12:00昼食 TV・趣味・買物・昼寝	19:00夕食 TV・趣味	23:00就寝		
6	○	8:30起床 9:00朝食 店の手伝い	13:00昼食 昼寝・趣味・店手伝い	21:00夕食 TV	22:30就寝		
7	○	6:00起床 7:00朝食 家事	12:30昼食 読書・趣味・昼寝	19:00夕食 TV	22~22:30就寝		
8	○	7:00起床 家事	9:00朝食 <家事・TV・昼寝>	14:00昼食 家事・店の手伝い・買物	20:30夕食 TV	23:00就寝	
		7:00起床 家事	9:00朝食 <友人宅、お茶飲み>	14:00昼食 家事・店の手伝い・買物	20:30夕食 TV	23:00就寝	
9	○	7:00起床 8:00朝食 新聞	12:00昼食 趣味	18:30夕食 趣味	23:30就寝 TV		互いに趣味をもち活動的であるが、生活パターンは同じである。
10	○	7:00起床 8:00朝食 家事・趣味	12:00昼食 趣味・買物	18:30夕食 TV・電話	23:30就寝		

○；パターン化している。△；どちらともいえない。×；パターン化していない。

・全体として規則正しい生活を送っており特に起床、食事、就寝時間は決まっている。起床は6~7時、就寝は22~23時と平均化している。

・大半が趣味を持っており、屋内派(3名)は読書等家の中でする趣味が中心。一方外出派(6名)は詩吟、将棋、散歩等、対人コミュニケーションのある趣味に興じている。男女別年齢別の傾向は特に見られない。

・1日の生活の中で夕食後にTVを見ている人(2~3時間程)10名中7名となっており、TVはシルバーライフの必要家電製品といえる。

・属性で見ると夫婦健在シルバー(3組共通)起床・就寝・食事の基本的な生活パターンは夫婦同じである。サラリーマンリタイヤ組(2組)に見られる傾向として、夫は典型的亭主関白で現在に至っているため家事は何もできず仕事や趣味に励んでいる。妻は専業主婦時代と変わらず、家事全般を要領よくこなして、自分の時間を有意義に活用している。

・子供と同居であっても夫婦健在シルバーは生活が自立している。

・一方、男性単身シルバーは家事全般に渡り長男夫婦にまかせており、自分は趣味(読書・将棋)を中心に、1人で時間的余裕のある行動をしている。

・今回のモニタリングで行った女性単身シルバー2名は、実娘と同居ということもあり家事は分担して行っている。

・単身シルバーに言える傾向として、散歩・買物くらいで家にいる時間が長い。

■主仕事

- ・ 有職シルバーのうち、ジュニアシルバー（65～74歳）の夫は家業、会社勤務といずれも現役である。一方シニアシルバー（75歳以上）の夫は趣味のウエイトが大きくなり、さらに時間的余裕もある。
- ・ 夫婦健在シルバーの妻は夫の生活パターンに準じて、家事や家業のサポートをしている。
- ・ シニアシルバー（75歳以上）の妻の主仕事は、家事と趣味で家事が付加している分、男性シニアシルバー及び無職男性シルバーより多忙な生活を送っている。

■日常生活における行動

- ・ 有職ジュニアシルバー男性は仕事に関係した外出が主になる。一方、シニアシルバー男性は趣味に関連した外出が中心である。行動範囲も近隣の友人宅や30分圏内の移動可能地である。
- ・ 女性シルバーは、日常的な買物や用足しの他に趣味に関連した外出時に、気分転換を兼ねて主要ターミナル付近で、ショッピング等を楽しむ傾向にある。
- ・ その他の傾向として、健康との関連も一部で見受けられる。通院のための外出をはじめとして、予防的な見地からスポーツクラブに通ったり（5. 夫婦健在ジュニアシルバー夫）するケースもある。

■生活環境について

住宅・住設	<ul style="list-style-type: none">・ 水回り（バス・サニタリー・キッチンetc）の増改築ニーズが家屋の老朽化とともに強くなる。既に増改築した家もあり。・ 年齢と共に、階段の段差に不安不満がある。
室内備品	<ul style="list-style-type: none">・ 家電製品の買替えニーズが顕著である。新しい家電製品の操作に対する、不安不満が目立つ（多ボタンが苦手）・ 便利な商品に対する関心がある。

物を大切にしてきた世代だが、古いものに対して（備品・家電）の買替えニーズは強い。シルバーライフの家事に対して、より簡便性を追求した商品及び肉体的な衰えをサポートする商品のニーズも高まることが予想できる。

2. 趣味・関心事

●は頻度が高い/強い関心事

NO	属性	年齢	趣味	サークル	現在の関心事	今後の関心事	
1	学者生活向学 シルバー	73	●読書(毎日) ●油絵(毎日)	IN IN	・同窓会(1回/月)	・病気 ・部屋の増築	・パソコンによるCG
2	仕事一筋いきいき シルバー	71	●国内海外旅行(1回/月) ・グルメ(1回/月)	OUT OUT	・商店街旅行会 (1回/月)	・商売	・全国旅行
3	話題活発いきいき シルバー	69	●国内海外旅行(1回/月)	OUT	・商店街旅行会 (1回/月)	・税金(特に相続税)	・全国旅行
4	会社役員リタイヤ シルバー	67	●ウエイトトレーニング (2~3回/週)	IN	・なし (好きでない)	・新築の家の構想	・妻との旅行
5	良妻賢母内助の巧 シルバー	61	●習字(1回/週) カチャー ●料理(2回/月) センター	IN	・特になし	・老後について(77付 マンションに関心あり)	・夫との旅行 ・体重を増やし水泳
6	大家族元大黒柱 シルバー	77	●将棋(3回/週) ・相撲観戦	IN OUT	・商店街将棋会 ・地元会合(1回/月)	・商売	・温泉旅行
7	知的生活エンジョイ シルバー	80	●ランの栽培 ●謡曲 ・俳句	IN IN	・老人会	・俳句	・特になし
8	家事現役 シルバー	82	●園芸 ・縫物	IN IN	・老人会	・健康	・編物 ・三味線(昔やっていた)
9	趣味仕事悠々自適 シルバー	76	●詩吟(1回/週) ●囲碁(3回/週)	IN IN	・特になし	・長女の新築する家の 相談	・常に好きなこと をやっている
10	趣味家事悠々自適 シルバー	70	●詩吟(1回/週) ●大正琴(1回/週)	IN IN	・特になし	・ ” ・詩吟の大会	・水泳

■趣味

- ・シニアシルバーの趣味に見られるように年齢が高くなる程、日本の伝統的な室内遊技や文化的なものへの取組みに熱心。シニアシルバーの趣味のほとんどは室内で行うものである。
- ・ジュニアシルバーは夫婦揃っての旅行に積極的で「動けるうちに旅行」という考え方が定着。また旅行を趣味として捉え今後の強い関心事になっている。

■サークル

- ・商売をやっている家族のシルバーは地元密着型である。一方サラリーマン家庭シルバーのサークル参加はない。
- ・単身シルバーは老人会等、同世代とのコミュニケーションを心掛けているように見受けられる。

■現在の関心事

- ・現実的なものが多い。住宅、税金等環境整備と金銭に絡むものを中心。又老後や子供への支援にも関心が向く。

■今後の関心事

- ・男性シルバーに比べ、女性シルバーの方が新しい取組みに意欲的である。特に健康との関連かシルバースイミングが注目される。

3. 非日常的行動

■レクリエーション

- ・ 年齢と共にレクリエーションという概念がなくなる。スポーツ系のレクリエーションはほとんど見られず、ジュニアシルバー男性はゴルフなど現在もやっているが、シニアシルバーは若い時にやっていたという程度で、文化的な活動も観劇ぐらいにとどまる。
- ・ 年齢を増すにつれて、アウトドアからインドア的な要素が強くなる傾向あり。

■旅行

- ・ 夫婦健在型シルバーは行動的で、海外、国内共に 数回/年出かけている。目的も観光、ショッピングと趣味的要素が強くなり自己向上型である。
- ・ 単身シルバーは、男性が友人と国内へ静養旅行、女性は老人会への参加、墓参となっており、生活に密着したものとなっている。

4. 健康

■現在の健康状態

健康状態	良好	5名	70歳 71歳 76歳 80歳 82歳	シニア妻 ジュニア夫 シニア夫 シニア単身女性 シニア単身女性	5名中4名がシニアシルバー層 80歳1名は腰痛心臓の持病をもっているが、健康状態に自信を持っている。
	ふつう	2名	61歳 67歳	ジュニア妻 ジュニア夫	すぐれない点など一切なし
	不良	治療中	2名	69歳 73歳	ジュニア妻 ジュニア単身男性
未治療		1名	77歳	シニア単身男性	難聴、肩痛

- ・ 自分の健康状態に対する自信と年齢の高低との関係はうすい。むしろ高齢になるほど、自信を持つ傾向が見られるが、自分と年齢や老いとの関わり方をマスターしているのではと想定される。
- ・ 現在の持病としては、身体の機能の低下、老化を原因とするものが中心。薬の服用、通院など日常生活の範疇で対応している。

NO	属性	年齢/性別	過去10年間の健康状況				健康に対する日常の心がけ			
			体調面		心情面		肉体型面		精神面	
			症状	対処	症状	対処	テーマ	心がけ	テーマ	心がけ
1	学生生活向学 シルバー	73 男	・狭心症 ・高血圧 ・体力低下	・薬の服用 ・旅行中止	・記憶力低下 ・感受性低下		・栄養バランス ・偏食、大食い ・温分摂り過ぎ ・注意	・老人ボケ 対策	・読書を使う ・頭を心がけ	
2	仕事一筋いきいき シルバー	71 男	・疲れ残る	・睡眠時間の延長	・子供への関心高まる	・子供との積極的なコミュニケーション	・食事規則正しい生活 ・規則正しく(朝・時間)起床時間と就寝時間の一定化		・くよくよしない	
3	話題活発いきいき シルバー	69 女	・疲れやすい	・睡眠時間の延長 ・仕事の軽減	・ストレスをためない	・言いたいことを言う	・食事 ・糖尿病対策 ・カロリー		・一人でくよくよ ・一人の相違ない ・一人の方を立てない	
4	会社役員リタイヤ シルバー	67 男	・心臓機能低下	・運動する	・定年を迎えシヨク	・人生観を変える	・禁煙	・楽しく過ごす	・前向きな考え ・向けるべき	
5	良妻賢母内助の巧 シルバー	61 女	・疲れやすい				・健康維持 ・中国古来の ・薬を続ける			
6	大家族元大黒柱 シルバー	77 男	・疲れ残る ・聴力低下	・睡眠時間の延長 ・補聴器断念	・コミュニケーション低下		・歩くこと	・ストレスをためない	・嫌なことない ・いやなことない	
7	知的生活エンジョイ シルバー	80 女	・帯状疱疹 ・めまい ・膝の痛み ・聴力低下	・通院、薬の服用 ・補聴器利用	・希望がなくなる	・楽しく生きる	・足の健康 ・マッサージと ・体操と歩くこと	・気分転換	・友人との ・コミュニケーション ・旅行	
8	家事現役シルバー	82 女	・ぜんそく ・膝、腰の痛み ・肩こり ・聴力低下	・入院、薬の服用 ・補聴器利用	・物忘れ ・内向的		・足腰の運動 ・疲労をためない ・歩くこと(散歩) ・無理をしないこと	・老人ボケ 対策	・考えること ・友人との ・コミュニケーション ・頭を働かせる	
9	趣味仕事悠々自適 シルバー	76 男	・胃潰瘍	・手術、入院				・無理をしない		
10	趣味家事悠々自適 シルバー	70 女	・体調不振	・入院						

■過去10年間の健康状態

- ・ジュニアシルバーが「疲れやすくなった」と、シルバー世代に入ってから急激な体力低下を意識。睡眠時間の延長仕事の軽減など体を休めることで対応。心情面では、特に急変は見られない。(治療中のNO.1モニター除)
- ・シニアシルバーになると、聴力低下。ひざ・腰の痛みなど身体の機能自体の故障を意識。また、入院・通院など医者にかかるケースが増える。心情面では、気力の低下が始まる。

■日常の心がけ

- ・肉体型面では、ジュニアシルバーが食事の摂り方や生活時間など生活のベーシックな部分にケア。シニアシルバーが、足腰の運動と身体の機能強化を心がけるなど、ジェネレーションによる違いが見られる。
- ・精神面では、年代差に関わらず“コミュニケーションを積極的に行う”“考える”など、頭を使うことを心がけること、“くよくよしない”“ストレスをためない”“楽しく過ごす”など前向きな姿勢で心がけること、と2つの方向性があげられる。

5. 家族関係

NO	属性	年齢	心がけ	今後に望むこと
1	学者生活向学 シルバー	73	・食事を一緒にする。	・特になし
2	仕事一筋いきいき シルバー	71	・干渉し合わない ・別居家族と同居家族1回/2週集合し、食事をする	・家族が近くに住む(現状通り) ・1回/1~2週家族が集まる(現状通り)
3	話題活発いきいき シルバー	69	・思ったことは口に出して言い合う	・家族が近くに住む(現状通り) ・1回/1~2週家族が集まる(現状通り)
4	会社役員リタイヤ シルバー	67	・日常ではすれ違うので、旅行などで話をする機会をつくる	・親離れ、子離れした関係
5	良妻賢母内助の巧 シルバー	61	・特になし	・子供に依存しない
6	大家族元大黒柱 シルバー	77	・干渉し合わない	・干渉し合わない関係(現状通り)
7	知的生活エンジョイ シルバー	80	・補聴器を使用し、誤解のないコミュニケーションをする	・現状で充分
8	家事現役 シルバー	82	・家族に喜ばれる料理を作る ・耳が遠いので、余計なことを言わず、何度も聞き返さない	・面倒をかけたくない
9	趣味仕事悠々自適 シルバー	76	・特になし	・特になし
10	趣味家事悠々自適 シルバー	70	・家族全員オープンに話す	・特になし

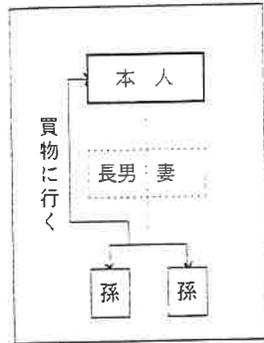
■日常のコミュニケーションの心がけ

- ・「“食”を共有する」「オープンに話す」など日常的にコミュニケーション積極派と、「干渉し合わない」と衝突の原因となるコミュニケーション消極派の2派に分かれる。
- ・難聴に悩むシニアシルバー2名のうち1名は、補聴器使用でコミュニケーションに積極的。もう1名はできるだけ余計なことを話さないと消極的と2派に分かれる。

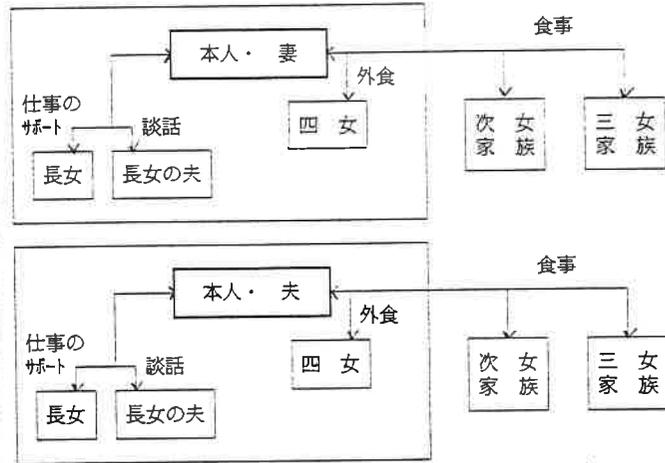
■今後の家族関係の展望

- ・子供世帯に依存したくないという意識が目立つ。
- ・「現状に満足(4名)」「特に望むことはなし(3名)」のように、今後、家族関係に対して夢を抱いているという傾向は見られない。

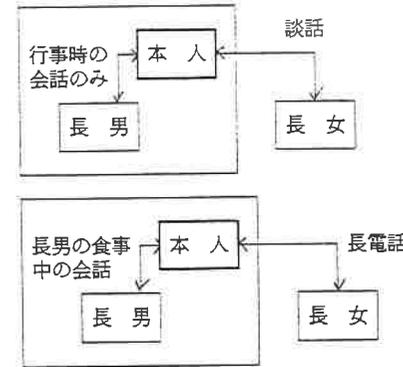
■家族間のコミュニケーションの状況



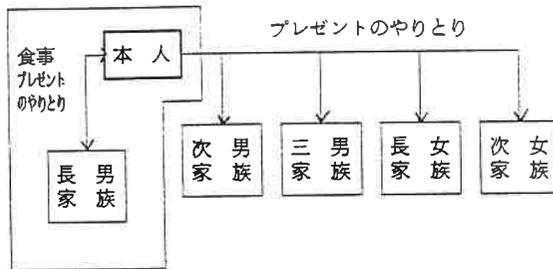
< 73才 単身男性 >



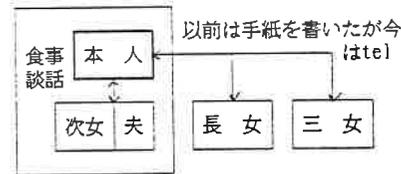
< 71才夫 (上段) 69才妻 (下段) >



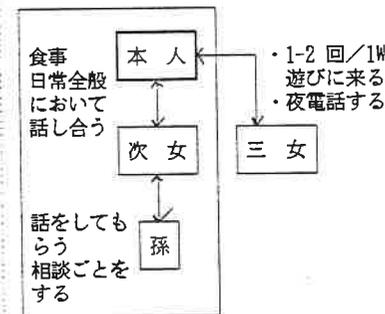
< 67才夫 (上段) 61才妻 (下段) >



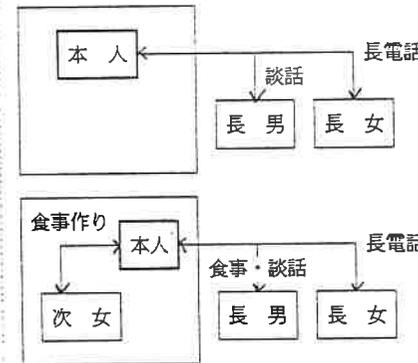
< 77才 単身男性 >



< 80才 単身女性 >



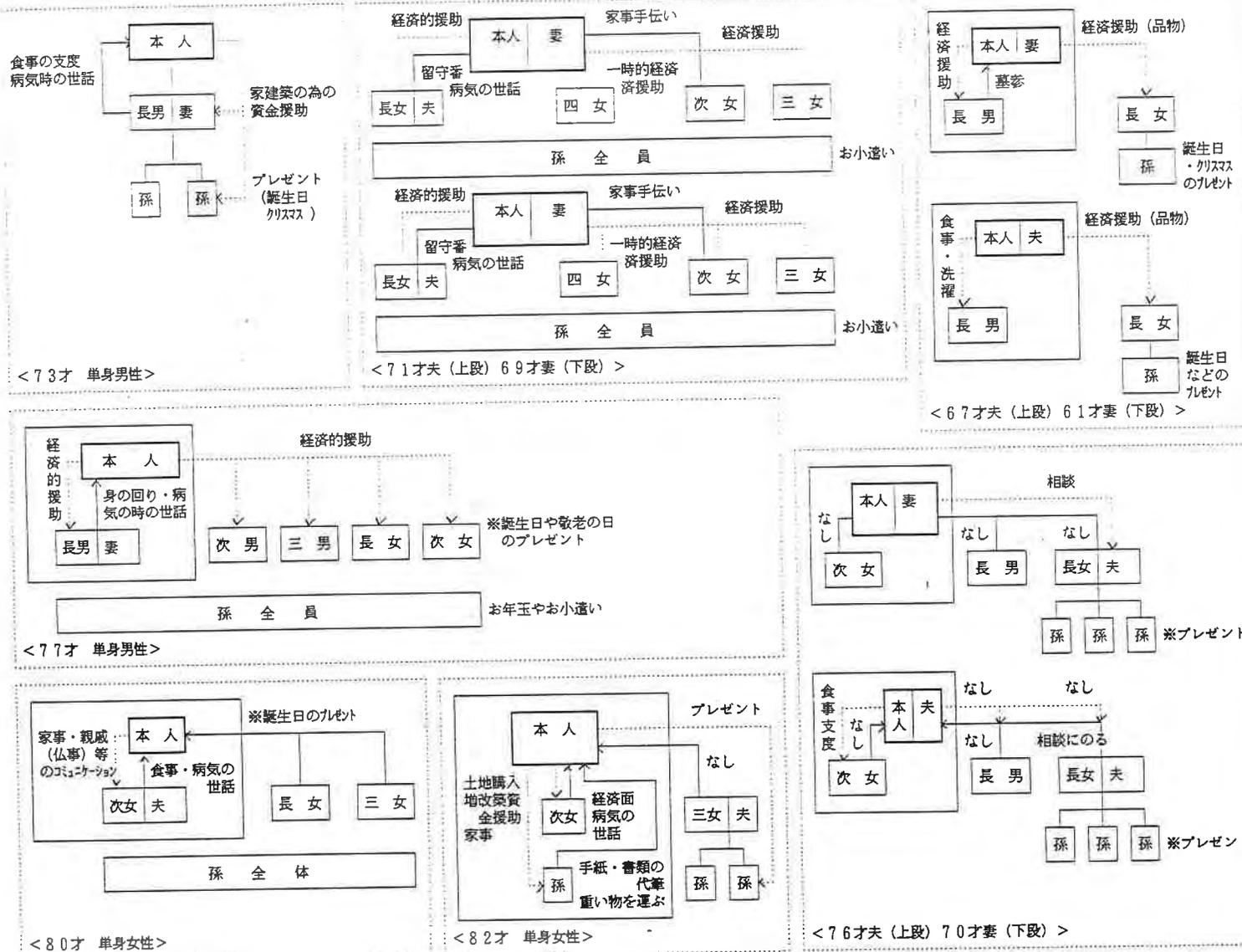
< 82才 単身女性 >



< 76才夫 (上段) 70才妻 (下段) >

- 男性単身シルバーと女性単身シルバーを比較すると、女性の方が家族とのコミュニケーションが活発。食事作り、食事の世話、食事中と、食を通じたコミュニケーションが目立つ。
- 夫婦健在シルバーでも同様に、夫より妻の方がコミュニケーションが活発である。
- 別居している子供との日常のコミュニケーションは電話が主である。近距離に在住している場合は、会話でコミュニケーションする。また、子供たちの家族とのコミュニケーションは、食事会・記念日のプレゼント交換などイベント的に行われる。

■家族間の支援・依存関係



・シルバー側からの支援は、経済的援助が目立つ。物品による援助から、家・土地関係までと援助額の幅は広い。

・家族に依存している部分は、病気になることでの世話、日常の食事、身の回りの世話が中心。ただし、夫婦健在シルバーの依存度は低く、食事、身の回りの世話を支援している状況である。

・孫に対しては、プレゼント・小遣いなどで、贈り物をする傾向が強い。

6. 家電製品との関わり

■関わりのある家電製品（キッチンまわり）

*○付番号はモニターN O

家電製品	毎日使う	よく使う	たまに使う	使わない	意識対象外
冷蔵庫	①7~8年前より使用 ③古い;家族数に対して小さい ④⑥10年前以上;大きいサイズが欲しいがスペース問題より我慢 ⑤5~6年前より使用 ⑩2年前;もっと薄型がよい			・買い換え理由は、全て古くなった為	②⑥⑨
電子レンジ	①最近購入 ③古い/時間かかる ⑤	⑦ ⑩			②⑥⑧⑨
オーブン	③ ⑤		⑩		①②⑥⑦⑧⑨
トースター	① ③ ⑩	⑧			②⑤⑥⑦⑨
炊飯器	①⑧2年前;タイマーの使い方が複雑 ③最近購入;操作が複雑 ⑤⑩2年位で壊れやすい	⑦			②④⑥⑨
ジューサー ミキサー	⑩新製品がでると買い換える		③掃除に手間	⑤	①②⑥⑦⑧⑨
ホットプレート		⑧ ⑩ ⑨冬季のみ;追い立てられる感じで、落ち着かない	①		②③⑤⑥⑦
電気鍋		⑤冬季のみ(時々)			①②③⑥⑦⑧⑨⑩
ジャーポット	⑦壊れたため、まもなく買い換えたい ⑨	⑤冬季のみ(時々)	⑩	⑧上から押す力が必要。やめた	①②③⑥
食器洗い器					①②③⑥⑦⑧⑨⑩ ⑤(欲しいがスペース問題で我慢)
食器乾燥器	⑩食器洗い器も付いているとよい				①②③⑤⑥⑦⑧⑨
フードプロセッサ		⑤			①②③⑥⑦⑧⑨⑩
浄水器	③効能わかりにくい				①②⑤⑥⑦⑧⑨⑩
コーヒーメーカー	① ⑩	⑤冬季のみ(時々)時間が経つと味が落ちる			②③⑥⑦⑧⑨
電磁調理器		⑩			①②③⑤⑥⑦⑧⑨
電気コンロ				⑩	①②③⑤⑥⑦⑧⑨

*製品自体を保有していない場合も含む

<モニター内訳>

- ・ジュニアシルバー ①単身男性/②③夫・妻/④⑤夫・妻
- ・シニアシルバー ⑥単身男性/⑦単身女性/⑧単身女性
⑨⑩夫・妻

■使用頻度と使用者

・使用頻度が高い製品は、以下のとおり。

1. 冷蔵庫
2. 炊飯器
3. 電子レンジ

・キッチン関連の家電製品の使用者は、女性中心。日常生活の必需品とされている冷蔵庫でさえ、3名の男性が使用していない。男性群の中で比較的使用しているのが、ジュニアシルバーの単身男性。夫婦健在の場合は、ほぼ炊事は妻任せという状態である。

■買い換え理由

・日常生活に不可欠な冷蔵庫・炊飯器の買い換え理由は、“古くなった”あるいは“壊れた”が中心である。他製品に関しては、“新製品情報より”“もらいもの”が一部理由としてあげられているが、特に理由は意識されていないことが多い。

■使い勝手の不満点

・製品に対する発言は消極的で、製品を受け身の立場で使用していると想定される。

・不満点としてあげられている要素は、冷蔵庫はサイズ・置くスペースに関する事、その他はほとんど“操作の難しさ”があげられる。

■関わりある家電製品（AV関係）

	毎日使う	よく使う	たまに使う	ほとんど使わない	意識対象外
ステレオ			①型が古い	④⑤⑦⑨⑩	②③⑥⑧
ラジカセ			①	④⑤⑦⑨⑩	②③⑥⑧
ラジオ		⑤故障。安価なので購入；扱いは簡単だが、音が悪い	①	④⑦⑨⑩	②③⑥⑧
テープレコーダー		⑦もらい物	①	④⑤⑨⑩	②③⑥⑧
テレビ	②③⑦古くなり買い換え ⑥故障のため購入；リモコンが使いにくい ⑧故障のため購入 ④		⑤⑨⑩	①	
ビデオデッキ			①②娘の希望；リモコンが使いにくい ③CMを見て購入；リモコンが使いにくい ④⑤	⑦⑨⑩	⑥⑧
ビデオカメラ					①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩
衛星放送受信システム					①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩

*製品自体を保有していない場合も含む

<モニター内訳>

- ・ジュニアシルバー ①単身男性／②③夫・妻／④⑤夫・妻
- ・シニアシルバー ⑥単身男性／⑦単身女性／⑧単身女性
⑨⑩夫・妻

■使用頻度と使用者

- ・日常品として使用されている製品は、テレビである。ついで、使用されるのが、ビデオデッキ。これは、テレビとセットと考えられるが、使いこなしているという段階には満たないといえる。
- ・各家庭にかなり普及されていると思われる、ステレオ・ラジカセ・ラジオ・テープレコーダーに関しては、家族のいずれかが保有しているものの、自分らの目につかないところにある。あるいは、気が付かない状態が想定される。音楽関連AV製品は、シルバー世帯の生活に浸透していないと捉えられる。
- ・AV製品全般に男女差はあまり見られない。

■買い換え理由

- ・テレビを除くとほとんどの製品が、家族の意志で購入されると考えられ、シルバーの意見は関与されていないようである。
- ・テレビに関しては、“故障” “古くなった” ことが理由としてあげられる。

■使い勝手の不満点

- ・日常生活に取り入れられているテレビやビデオデッキへは、ボタンが小さく扱いにくい、見にくいなど“リモコン”に対する不満がある。その他に関しては、不満点が生まれるほど使用されていない。

■関わりのある家電製品（リビング関連）

	毎日使う	よく使う	たまに使う	使わない	意識対象外
洗濯機	①③ ⑤全自動発売時に購入 ⑩	⑧少量の時は節約のため手洗い		④⑦全自動でボタンが多く使いこなせない	②⑥⑨
乾燥機	⑩(冬場、洗濯機とセット)音がうるさい			④	①②③⑥⑦⑧⑨ ⑤(欲しいがスペースの問題)
掃除機	①③⑤	⑩買い換えが多い	⑦ホースの高さ・角度が合わない ⑧	④	②⑥⑨
アイロン	③		① ⑤2回/1週；新型が欲しい ⑦古くなり買い換え ⑧⑩コードレスがほしい	④	②③⑥⑨
布団乾燥機			⑧2階まで布団を運ぶのが大変で購入 ⑩		①④⑤⑥⑦⑨
シェーバー	⑥すぐ切れなくなる。が刈の方が安上がり	⑨	①④古くなり買い換え	②⑤すぐ切れ味が悪くなる	③⑦⑧⑩
ドライヤー			⑤CM見て購入 ⑩子供が購入	④	②③⑥⑦⑧⑨ *わからない①
マッサージャー			①②⑧ ⑩便利と思い購入。使わず		③④⑤⑥⑦⑨
温水機					①②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩

<モニター内訳>

- ・ジュニアシルバー ①単身男性/②③夫・妻/④⑤夫・妻
- ・シニアシルバー ⑥単身男性/⑦単身女性/⑧単身女性
⑨⑩夫・妻

■使用頻度と使用者

- ・商用頻度の高い製品は、洗濯機と掃除機の2製品である。
- ・リビングまわりの家電製品の使用者は、女性中心。男性専用のシェーバーでさえ、使い捨てタイプのカミソリ愛用者が多いのか、使用頻度はさほど高くないようである。
- ・シェーバー以外に、男性群はシニア単身男性が数種使用しているのを除くと、ほとんどリビングまわりの家電製品との関わりは薄い。
- ・掃除、洗濯など家事は、すべて妻任せという状態である。

■買い換え理由

- ・同居している子供夫婦の考え、あるいは古くなった、壊れたなどが理由として想定されるが、特に理由は意識されていないことが多い。
- ・少数意見ではあるが、便利になる（全自動洗濯機・マッサージャー）、体が楽になる（布団乾燥機）といった身体への快適性が、買い換えや新規購入を促しているようだ。

■使い勝手の不満点

- ・製品に対する発言は、消極的で製品を受け身で使用していると想定される。
- ・不満点としてあげられる要素は、操作の難しさとシルバー世帯にフィットしていないこと（サイズ・少人数）である。

■関わりのある家電製品（冷暖房）

	毎日使う	よく使う	たまに使う	使わない	意識対象外
エアコン	⑤(夏場) ⑥(夏場); リモコンがなく不便	①⑦古くなり ⑩ 買い換え	②古く、力が弱い。 買い換えたい リモコンがなく不便 ③型が古く大きい リモコンがなく不便 ⑧音がうるさい。 風が冷たい。		④⑨
ヒーター				⑩壊れて破棄	①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨
こたつ	⑥⑧	⑦		①⑩使わないので 破棄	②③④⑤⑨
電気毛布				①④⑤⑩	②③⑥⑦⑧⑨
電気カーペット	⑥⑧	⑤便利と思い 購入 ⑩			①(使っているようだ) ②③④⑦⑨
電気あんか	④⑧		⑦	①⑩	②③⑥⑨
加湿器					①(使っているようだ) ②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩
扇風機	①⑥⑧		⑦	④暑くて購入 ⑤⑩	②③⑨

<モニター内訳>

- ・ジュニアシルバー ①単身男性/④⑤夫・妻
②③夫・妻…銭湯経営のため、保温良好
暖房不必要
- ・シニアシルバー ⑥単身男性/⑦単身女性/⑧単身女性
⑨⑩夫・妻

■使用頻度と使用者

- ・使用頻度が高い製品は、エアコン。こたつ・扇風機の使用頻度はグンと少なくなり、むしろ電気カーペットの方が使用されている。じっと座って暖まる、涼まるというより、自由行動ができる冷暖房機具が生活に取り入れられている。
- ・使用状況に男女の差異は見られない。

■買い換え理由

- ・エアコンに関しては、“古くなったため”という理由が目立つ。機能と性能が、よりアップしたものを求める傾向が見られる。
- ・その他の製品に関しては、購入理由、買い換えとも、特に意識されていない。

■使い勝手の不満点

- ・エアコンに関しては、“リモコン”機能がないことへの不満が目立つため、最近の購入でないことが伺える。その他に、発言は少なく、製品に対して消極的である。

■関わりのある家電製品（OA）

	毎日使う	よく使う	たまに使う	使わない	意識対象外
パソコン	①型が古い			⑨⑩	②③④⑤⑥⑦⑧
ワープロ				①(息子使用) ④⑤(") ⑨⑩	②③⑥⑦⑧
電卓		⑨	①④⑩	⑤	②③⑥⑦⑧
コピー			(①北-店 利用)	④⑤1回のみ使用	②③⑥⑦⑧⑨⑩
電話	①②店用・家用が同じで 取り次ぎが面倒 ③内線機能の操作が難しい ⑥ダイヤルが大きい物使用	④⑤子機付 ⑧ 購入 ⑨⑩	⑦		
FAX					①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩

* 製品自体を保有していない場合も含む

<モニター内訳>

- ・ジュニアシルバー ①単身男性/②③夫・妻/④⑤夫・妻
- ・シニアシルバー ⑥単身男性/⑦単身女性/⑧単身女性
⑨⑩夫・妻

■使用頻度と使用者

- ・電話はどの世帯でも、頻繁に使用されている。さらに、各世帯の生活形態に合わせ、子機をつけるなど工夫されている。
- ・電話以外では、電卓が男性群中心に使われている程度で、OA関連製品は、シルバー生活にまだ浸透していない様子である。

■買い換え理由

- ・電話機に関しては、他の家電製品と比べ、比較的、より使いやすい機能やシステムになっているものに、チャレンジする傾向が見られる。

■使い勝手の不満点

- ・電話機に関しては、“使いこなす難しさ”に対するコメントが1組の夫妻からあがっているが、他は問題意識をもっているものは見当たらない。他は、基本的機能のみ使用し、使っていると想定される。

■新商品に対するニーズ

操作性に対する ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> ・新商品は使い方がわからない ① ・新製品は操作が難しいので、シンプル操作（ボタンひとつ）がよい ④⑦⑧⑩ ・老人用リモコン・スイッチ（効果が明確、説明文字が大きい） ⑥⑩
情報に対する ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の情報が少ない ①
各製品への ニーズ	ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい機能は付けず、音質の良さのみを追求したもの。高値でもOK ⑤
	補聴器	<ul style="list-style-type: none"> ・性能がよいもの。高値でもOK ⑥ ・わずらわしくないもの（耳の中に入れない） ⑦⑧
	掃除機	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量。老人サイズのもの ⑦
新しいアイデア		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用自販機 ⑨

- 操作性に対するニーズが最も多く、“操作がシンプルであること”がポイント。さらに、エルゴノミクスの方向からもシルバー向けハードウェアが求められてる。
- 製品ベースでみると、補聴器へのニーズが目立つ。シルバー市場のみとターゲットとする製品の見直し、開発が必須であると想定される。